

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	高齢者・障害者等居住小委員会		主 査 名：児玉 善郎 就任年月：2010 年 4 月																														
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)		委員長名：松村 秀一 主 査 名：菊地成朋																														
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月																																
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>超高齢社会にあつて、高齢者・障害者等の居住環境について、住宅だけを問題にするのではなく、介護や医療の分野を含めて統合的に捉え、課題解決を図ることが重要である。本小委員会はこうした視点に立ち、高齢者や障害者の地域での安定的・継続的な居住環境を構築するための建築環境の全体像とそれを具体化するための方法を明らかにするための研究活動を行う。あわせて、福祉、住宅に関する政策担当者や自治体、および関連する建築、福祉、保健、医療等の専門家に広く知見を提供し、具体的な政策立案や施策展開に繋がる働きかけを行う。</p> <p>2008 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年代の介護、住宅の制度改革に向けた戦略的な研究活動計画の立案 ・ 公開研究会の開催 <p>2009 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅福祉環境整備のための各分野の専門家との研究会の開催 ・ 高齢者・障害者等に関する先進的住宅・居住施設の見学会の開催 <p>2010 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者・障害者等の地域での居住環境整備に関わる研究会の開催 ・ 高齢者・障害者等の地域居住を実践する先進的取り組みの見学会の開催 <p>2011 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者・障害者等の地域における居住環境整備に関わる研究会の開催 (特に東日本大震災における高齢者・障害者の被害実態と居住とケアの復興に向けての課題の検討) ・ 高齢者・障害者等の地域における居住環境のあり方に関する検討成果について小委員会 HP を通じた情報発信 																																
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 30%;">児玉 善郎</td><td>日本福祉大学社会福祉学部</td></tr> <tr><td>橘 弘志</td><td>実践女子大学生生活科学部生活環境学科</td></tr> <tr><td>鈴木 晃</td><td>国立保健医療科学院建築衛生部健康住宅室</td></tr> <tr><td>橋本 彼路子</td><td>スタジオ 3</td></tr> <tr><td>野口 祐子</td><td>聖学院大学基礎総合教育部</td></tr> <tr><td>石井 敏</td><td>東北工業大学建築学科</td></tr> <tr><td>生田 京子</td><td>名城大学理工学部建築学科</td></tr> <tr><td>上和田 茂</td><td>九州産業大学工学部建築学科</td></tr> <tr><td>佐藤 由美</td><td>大阪市立大学都市研究プラザ</td></tr> <tr><td>山本 和恵</td><td>東北文化学園大学科学技術学部住環境デザイン学科</td></tr> <tr><td>番場 美恵子</td><td>昭和女子大学生生活科学部生活環境学科</td></tr> <tr><td>吉村 和美</td><td>吉村和美住環境デザイン研究所</td></tr> <tr><td>鈴木 健太郎</td><td>杏林大学</td></tr> <tr><td>山田 義文</td><td>東洋大学ライフデザイン学部</td></tr> <tr><td>岡部 真智子</td><td>日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター</td></tr> </table>			児玉 善郎	日本福祉大学社会福祉学部	橘 弘志	実践女子大学生生活科学部生活環境学科	鈴木 晃	国立保健医療科学院建築衛生部健康住宅室	橋本 彼路子	スタジオ 3	野口 祐子	聖学院大学基礎総合教育部	石井 敏	東北工業大学建築学科	生田 京子	名城大学理工学部建築学科	上和田 茂	九州産業大学工学部建築学科	佐藤 由美	大阪市立大学都市研究プラザ	山本 和恵	東北文化学園大学科学技術学部住環境デザイン学科	番場 美恵子	昭和女子大学生生活科学部生活環境学科	吉村 和美	吉村和美住環境デザイン研究所	鈴木 健太郎	杏林大学	山田 義文	東洋大学ライフデザイン学部	岡部 真智子	日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター
児玉 善郎	日本福祉大学社会福祉学部																																
橘 弘志	実践女子大学生生活科学部生活環境学科																																
鈴木 晃	国立保健医療科学院建築衛生部健康住宅室																																
橋本 彼路子	スタジオ 3																																
野口 祐子	聖学院大学基礎総合教育部																																
石井 敏	東北工業大学建築学科																																
生田 京子	名城大学理工学部建築学科																																
上和田 茂	九州産業大学工学部建築学科																																
佐藤 由美	大阪市立大学都市研究プラザ																																
山本 和恵	東北文化学園大学科学技術学部住環境デザイン学科																																
番場 美恵子	昭和女子大学生生活科学部生活環境学科																																
吉村 和美	吉村和美住環境デザイン研究所																																
鈴木 健太郎	杏林大学																																
山田 義文	東洋大学ライフデザイン学部																																
岡部 真智子	日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター																																
設置 WG (WG 名：目的)	<p>在宅ケア環境WG：高齢者、障害者の在宅環境整備に関する研究活動を行う。 高齢者居住WG：高齢者、障害者の地域居住に関する先進事例の視察調査を行う。</p>																																
2011 年度予算	190,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/keikakusab/s15/top.htm</p>																															

項 目	自己評価
委員会開催数	3回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	1. 公開研究会「東日本大震災における高齢者・障害者の被災実態と居住復興の課題」 参加者 24 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1. 東日本大震災における、高齢者・障害者等の被害の実態、福祉施設の被災状況、福祉避難所、仮設住宅の設置、運営の状況と課題について、小委員会会合において検討を行った。小委員会会合では、委員会メンバーからの報告をもとに、現状把握と今後の課題について議論を行った。 2. 上記研究成果をふまえた公開研究会を 2012 年 2 月 25 日に開催予定。 3. 公開研究会の結果を含めて今年度の小委員会活動の成果について HP を通じて公表する予定。
委員会活動の問題点・課題	1. 本小委員会が 10 年以上にわたり（前身の小委員会での活動を含めて）積み重ねてきた高齢者・障害者の居住施設の環境や地域居住支援に関する研究成果を、東日本大震災被災地における高齢者・障害者の地域支援に生かすことが求められている。今年度の公開研究会の成果を踏まえながら、被災した市町の復興計画にもとづく、高齢者・障害者の居住とケアの支援システムの検討に貢献していくことが本小委員会の今後の課題である。 2. 本小委員会は今年度末で 4 年の期限を終えて一旦廃止となるが、2012 年度より本小委員会の主旨を引き継いで活動する小委員会において、これまでの研究蓄積を含めて、研究成果を社会に発信していくことが求められる。